

		チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	余裕を持ったスペースの確保ができています。施設内に段差などなく、スムーズに出入りが出来る。 送迎でスタッフが抜ける時間等、見守りを行うスタッフを十分に配置したり、職員数に応じて利用児童数を調整しているのは良いが、在籍職員数が少ない。
	②	職員の配置数は適切であるか	どちらともいえない	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	どちらともいえない	日々の朝礼・終礼で情報共有や支援内容の振り返りを行っているが、定期的なミーティングを行う時間を確保できていない。朝礼・終礼に参加できないスタッフもいるため、全員での話し合いの時間の確保が難しい。 定期的な事業所内研修(防災・救急・虐待防止・身体拘束・感染症・専門研修等)の実施や自立支援協議会等が開催する外部研修へ参加している。また参加できないスタッフへ向けて施設内で伝達講習などを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価をするとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	どちらともいえない	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	はい	多職種間でカンファレンスを行い、振り返りと今後の課題について分析し、個々の支援計画書を作成している。 日々の活動については、季節の行事を取り入れた活動を中心に行っている。年中行事や外での活動を通して季節を感じてもらえるようにスタッフ間で話し合いを行っている。話し合った内容などを共通認識出来るよう努め、目標をもって活動が出来るように工夫している。 毎日、朝礼で申し送り事項の確認を行うとともに、その日の活動の流れなど、支援の内容や役割分担について確認し、職員間で共有できるようにしている。 毎日、終礼で一日の振り返りを行っている。また、日報を作成し、職員間で共有できるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	どちらともいえない	
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい	
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	はい	
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等	はい	

	を共有しているか	
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい